

Matsushima

2026

News

2026.新年号 vol.39



謹賀新年

医療法人 恵仁会 松島病院大腸肛門病センター



新年のご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は地域の皆様より格別のご高配を賜りました事に、厚く御礼申し上げます。

さて今年の干支は「午（うま）」です。馬には前に向かって常に前進し続けるイメージがあります。私たち松島病院は、開院100周年事業として2023年5月新病院を竣工・移転いたしました。最新の設備と経験豊かな診療スタッフによる「肛門疾患・大腸疾患の最善・最良の



恵仁会 理事長
松島 誠

治療」を安心して受けられる専門病院として常に前進し続け、さらなる高みを目指し、今年はもっと良い一年にしたいと決意を新たにしています。ご存じのように、昨年の日本における病院経営は、物価や人件費の高騰と診療報酬のマイナス改定により、「過去最大の危機」といわれる1年でした。そのような中で私たちは、大腸肛門疾患専門病院として独自の課題抽出・目標設定を行い、患者さまの為に大腸肛門疾患の診断と治療のさらなる発展・向上を遂げるべく職員一丸となって邁進する所存です。松島病院の22名の常勤専門医によって行われた昨年一年間の大腸肛門疾患診療は、外来受診者数125,689人、1日当たりの外来受診患者数440名、年間肛門科手術件数8,756件（外来2,343件・入院6,413件）、大腸内視鏡検査15,286件、大腸内視鏡手術（外来3,479件・入院261件）、胃内視鏡検査4,455件でした。この実績に基づいて本年も変わらず、松島病院を訪れる患者さますべてに最善を尽くすことをお約束いたします。



恵仁会 副理事長
西野 晴夫

新年あけましておめでとうございます。
皆様にはこの新しい年を穏やかに迎えられ、健康的な一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。
松島病院は新病院開設後3回目の新年を迎えました。新病院では機能的なレイアウトをはじめ、医療機器の更新等を行いました。デジタル化の面では電子カルテ、オーダーリングシステムが未だ十分に活用されているとは言えない状況にあります。受付から診察、各種検査、結果説明、処方投薬、会計の流れ、そして学術データ収集など、よりITを活用し、ホスピタリティの向

上を図っていかねばなりません。本年はこの点に注力してまいります。
また、難治性のIBD（炎症性腸疾患）は当院通院の患者さまの中でも長期加療が必要です。特にこのような患者さまの御要望をお聞きし、診療に反映させることも重要な施策と考えております。是非ご意見をお寄せください。内視鏡診療においては近年、当院と同様の診療を標榜するクリニックも増加してきております。当院は45年間一貫して、苦痛が少なく精度の高い内視鏡診療を行ってきました。この間、内視鏡機器は著しく進歩しましたが、それとは別に、常に患者さまの御要望をその都度とり入れてきたことが、現在でも年間約15,000人という数多くの方が来院され信頼を得ている証と考えております。本年も職員一同、皆様とご家族のご多幸を大腸・肛門領域の健康管理面から全力でサポートしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は多大なご厚情を賜りまして御礼申し上げます。

松島病院は新病院に移設して再スタートし、2年が経過しました。まだまだ発展途上ではありますが職員一同、一層の努力をしております。
松島病院は本年4月より毎週木曜日を外来休診と致します。手術、内視鏡検査、人間ドックはこれまで通り行ってまいります。外来での待ち時間の短縮、外来、検査業務の一層の効率化を行う事が目的です。皆様方にご不便がないように努力しております。

昨今の医療事情は非常に厳しいものがありますが、当院は多くの方々の大腸肛門病に関わる健康を支えるため、努力を重ねてまいります。最新の医療知識と技術を取り入れ、トップランナーとして最適な診断と治療が提供できますように努めてまいります。

当院の医療はすべてのスタッフのみならず、多くの近隣の方々のご尽力によって支えられています。厳しい状況の中でも努力していただいている皆様方に深く感謝いたします。

本年も多くの皆様に信頼され、愛される病院であり続けるため全力をつくしてまいります。

皆様のご健康と一層のご発展を心より祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



松島病院 病院長
宮島 伸宜



恵仁会
職員の

新年の抱負



患者さまが笑顔で退院できるように努めます！
病棟看護師

また来たいと思ってもらえるような外来を目指します！
外来看護師

患者さまの立場に立った薬剤業務を行います！
薬剤師一同

笑顔で接遇を心がけます！
医事課一同

安心・安全な検査を行い、迅速かつ正確な検査を提供します！
検査科一同

新たに副院長に就任しました！

副院長
内視鏡・IBDセンター長
小林清典先生



新年明けましておめでとうございます。令和8年が皆様にとりまして、幸多からんことを祈念しております。さて昨年、副院長および内視鏡・IBDセンター長に任用いただきました。その責任の大きさを痛感しております。私が所属する胃腸科は、副理事長の西野先生のもと上部・下部内視鏡診療を中心に、炎症性腸疾患（IBD）の診療におきましても新規治療法を積極的に導入しております。皆様には、胃腸科の診療にご協力をいただき感謝しております。今後は、肛門科との人的交流の継続や外来運用の効率化、及び地域医療機関との連携を進めていきたいと考えております。どうか、よろしくお願いいたします。

副院長
肛門科外来部門長
松島 小百合先生



2025年は全国で自然災害や社会不安が続き、日常の医療体制の大切さを改めて実感する一年でした。本年4月からは外来診療が週5日体制となります。診療日数の変更により患者さまの利便性が損なわれることのないよう、予約枠の最適化や外来動線の改善に努め、移行期のご不便を最小限に抑え安心して受診して頂けるよう細やかな調整を続けております。本年も安全で丁寧な診療をお届けできるよう、職員一同取り組んでまいりますので何卒どうぞご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2026年4月～外来診療日変更のお知らせ

本年4月1日より木曜日の外来診療を休診とさせていただくこととなりました。なお、手術・内視鏡検査・人間ドックにつきましては従来通り行います。

ご不便をおかけいたしますが、患者さまに安全で質の高い医療を提供するよう職員一同尽力してまいります。よりよい診療体制の構築のためご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■外来休診日

日曜日・祝祭日・年末年始



(2026年4月より) 木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	●	●	●	休	●	●	休
午後	●	●	●	休	●	●	休

よろしくお願いします

※ご不明な点は、スタッフまでお気軽にお尋ねください。



スタッフがおススメするご近所探訪！ Vol.7

菓子 喜月(きげつ)

松島病院を出て左手に向かい京急線の高架下をくぐり、御所山交差点を越えて道なりに行くとある和菓子屋さん。地域に根付いたお店で、名物の「喜月最中」や季節ごとの上生菓子など色とりどりの和菓子が並んでいます。喜月最中は2種類で、ベーシックな最中は粒あん、ピンク色の最中は栗入りの白あん。どちらもねっとり甘くて和菓子好きにはたまらない♪「黒糖まんじゅう」やこしあんの「うさぎまんじゅう」は近くの区役所職員からも人気です。おはぎや柏餅、いちご大福など季節の和菓子も楽しめます。美味しいので食べ過ぎには注意してくださいね。



営業時間 8:30～18:30 (月曜日定休)
横浜市西区中央1-2-11
*お支払いは現金のみ

